

令和元年12月吉日 副理事・所長 海老澤政昭

個別支援計画におけるまとめ及び後期計画（案）に対する面談、ご協力ありがとうございます。11月末現在、ほぼ終了することができました。今回から導入された支援デザインとしての職員の“おおい”と子どもたち、仲間たち本人による“まとめ”と“目標”はいかがでしょうか。何年か続けていく中で、職員の“おおい”、本人たちの“まとめ”と“目標”、それぞれ、少しずつでも成果が表れるように継続していく予定です。ご意見がありましたら、遠慮なく、職員にお伝えください。

さて、私たちが進める取り組みの骨組みが個別支援計画になります。この計画こそが、法人、事業所の在り方そのものにもなります。計画そのものの紙面は、A4判2枚程度になりますが、その2枚に至るまでの資料等はたいへんな分量になると思います。私たちは、その大変な分量を、いかにコンパクトに、そして、わかりやすく伝えていくのか、が問われます。生活の主人公である“子どもたち”や“仲間たち”自身が、自分自身に問いかけられるような方法等の工夫も必要不可欠です。毎日の取り組みの中で作り上げていく様々なアイテムをたくさんストックすることが大切であり、同時に、様々なシーンに合わせたアイテムの活用方法を支援員及び指導員が共通理解することが求められます。少しずつ、アイテムのストック、活用方法等がわかってきています。これらは、職員同士の話し合いを通して理解していくことが基本になりますが、当然、法人及び事業所も専門的な指導を受ける必要があると思っています。今年度、試行的に実施しているコンサルテーション（宍戸幽香里先生）を来年度も引き続き実施していこうと考えています。そういう意味でも、来年度は、ゴウディングにとって転換点になると思っています。保護者の皆様からのたくさんのご意見も重要なことです。現在のサロンを少しずつ、拡大できれば、と思います。

(11月18日 上棟式)



2019年 第6回

生活介護



原田デイ



今泉デイ



11月2日、第6回感謝祭には事業所周辺の皆様を含め、多くの方々がお越しくださいました。ごうでいんぐ原田で開催する最後の感謝祭になりましたが、天候にも恵まれ盛會に終えることができたことは本当に感謝いたします。

次年度からは新たな出発となります。今後とも事業所を利用される多くの仲間たちやその保護者の皆様、また支えてくださる多くの皆様方と avancer の言葉通り「一歩前へ」歩いていけますよう、今後とも頑張りたいと思います。

【編集後記】

今年は例年と比べ日々の寒暖差が激しいようにも思われます。それに加えて天候もすっきりしない日が続いています。こんなときは体調管理も難しいですね。インフルエンザの流行も例年より一ヶ月早いとも言われています。是非とも残り一ヶ月あまりとなった令和元年、是非とも健康に気をつけながら過ごしていきたいですね。

担当 三輪